

2020年6月13日

世界女性の日

【説教】

キリストの驚くべき愛が私に迫る

Sermon: Christ's Amazing Love Moves Me

ヘザードーン・スモール

Heather-Dawn Small

著者について

ヘザードーン・スモールは 2020 年世界女性の日の説教「キリストの驚くべき愛が私に迫る」の著者です。現在ヘザードーンはセブンスデーアドベンチスト教団世界総会の女性部部長を務めています。彼女はジョセフ・スモール牧師の妻であり、娘のダロニーと息子のジェラルドという二人の若者の母でもあります。

2001 年に世界総会に来るまでは、トリニダード・トバゴにあるカリビアン・ユニオン・カンファレンスで 5 年間女性部と児童伝道部の部長を務めていました。

ヘザードーンはアメリカのミシガン州ベリンズプリングスにあるアンドリュース大学で英語の学位を取得していて、アメリカのオレゴン州ポートランドにあるウェスタン・セミナリーで「Leadership with an emphasis in Pastoral Care to Women」の修士号を取得しています。

ヘザードーンの趣味は飛行機旅行、読書、刺繍、スクラップブック、切手収集で、女性への伝道が楽しみです。世界を旅するうえで、彼女には三つの熱い思いがあります。福音伝道に携わる女性をもっとたくさん見ること、伝道活動に参加するよう女性（特に若い女性）を促すこと、そして人生において大変なことがあるにも関わらず神様が与えてくださった喜びを分かち合うことです。彼女の好きな言葉は「喜び」で、座右の銘は「あなたの喜びを他の人に奪われないで」です。

説教

キリストの驚くべき愛が私に迫る

ヘザードン・スモール

「キリストの愛がわたしたちに強く迫っているからである。」
コリント人への第二の手紙 5：14

(説教者へ：説教前に祈るとき、聖霊様を遣わして説教を聞くすべての人の心と考えを動かして下さるように神様にお願いしてください。人々に変化と癒しをもたらすのは聖霊様です。このメッセージは変化のための訴えなのです。)

聖書箇所：ヨハネの第一の手紙 4：7-12 (口語訳)

はじめに

最初にいくつか質問をしてから始めましょう。(一つずつ読み上げるごとに数秒の間を設ける。)

- ❖ キリストを知ってどのようにあなたの人生は変わりましたか？
- ❖ 去年のあなたと今年のあなたは違いますか？
- ❖ あなたへのキリストの愛は、あなたを変えましたか？
- ❖ もし私があなたに親しい人たち、あなたの家族に尋ねるとしたら、彼らは何と言うでしょうか？

気まずい質問ですけど、私たちはこれに答えないといけません。ですので、もう一度繰り返します。

- ❖ キリストを知ってどのようにあなたの人生は変わりましたか？
- ❖ 去年のあなたと今年のあなたは違いますか？
- ❖ あなたへのキリストの愛は、あなたを変えましたか？
- ❖ もし私があなたに親しい人たち、あなたの家族に尋ねるとしたら、彼らは何と言うでしょうか？

パウロはコリント人への第二の手紙 5：14 で「なぜなら、キリストの愛がわたしたちに強く迫っているからである」(口語訳)と書いています。

英語の聖書の様々な翻訳は口語訳で「迫っている」、新共同訳で「駆り立てている」と訳されている“constraineth”という言葉の色々な類語を用いています。「強く動かす」、「支配する」、「強く促す」、「駆り立てる」、「動かす」などです。

強い言葉は強い意味を持ちます。私たちを強いる、強く動かす、支配する、そして行動へと動かすものというのは何なのでしょう。これは一体どのような愛なのでしょう。ある話を分かち合いたいと思います。

34歳のスーザンは、目が見えなくなってから一年が経ちます。誤診により視力を失ったのです。突然何も見えなくなりました。愛する夫マークの顔さえも。どうしてこんな目にあってしまったのか、毎日自問自答しました。彼女は落ち込みました。後悔と喪失感でつらい思いをするのも当然のことです。

マークは妻の痛みを感じていて、スーザンの喪失感と現状を受け入れようと奮闘する姿に深く悲しんでいました。彼に何ができるでしょうか。スーザンは自分だけで動き回ることをひどく恐れていたため、彼女が通勤でバスに乗るのも含め、マークはどこへでも一緒に行きました。でもそれを続けることはできませんでした。お金がかかるし、大忙しになるからです。スーザンを職場に下ろした後、マークは他のバスに乗って自分の職場まで行かなければなりません。

ついにマークは、スーザンは自分一人でバスに乗れるようにならないといけないと告げました。スーザンは怒り、自分一人でバスに乗らないといけないと考えて呆然としました。「私は目が見えないのよ」と、彼女はマークに向かって叫びました。「どうやって自分がどこに向かっているか知ればいいのか？ あなたに見捨てられるみたいだわ。」それを聞いてマークの心は砕けそうになりましたが、マークはスーザンが一人でバスに乗れるようにならないといけないとわかっていました。そのうち一人でバスに乗ることに慣れて、もっと自信を持つだろうとマークは確信を持っていました。でも、マークが一緒にいる限り、スーザンはそこに到達することはないでしょう。そこで、その後数回はマークがやることすべてをスーザンに説明し、彼女に自分でやらせてみました。スーザンがバスの運転手と友達になる手助けまでもしたのです。

ついに、スーザンが自分だけでバスに乗れると自信を持てる日がきました。マークはスーザンが失明する前のように職場までタクシーに乗ります。最初の月曜日の朝、スーザンは離れたくないとでも言うかのように、夫を抱きしめました。でも彼を放し、バスに乗り、出かけました。月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、毎日そうしました。日ごとに自力で職場まで行けると自信を持つようになりました。

ある朝、バスから降りるために乗車賃を払っているとき、「あなたのことが本当にうらやましいよ」と運転手が言いました。

スーザンは運転手が自分に向かって話しかけているのかどうか確かではありませんでした。一体だれが目の見えない女の人のことがうらやましいって言うのでしょうか。気になって、スーザンは運転手に尋ねました。「どうして私のことがうらやましいのですか？」

運転手はこう答えました。「あなたみたいに面倒を見てもらって、守られていたらとてもいい気分だろうね。」

スーザンは運転手が何の話をしているのか全く分からなかったので、「どういうことですか？」と尋ねました。

運転手は答えました。「ほら、この一週間毎朝格好いい男の人が角の向こうに立っていて、あなたがバスから降りるのを見ているんだよ。あなたが安全に道路を渡れるか確かめて、あなたがオフィスビルに入るまでずっと見てるんだ。そしてあなたに投げキスをして、歩き去ってるよ。あなたは幸運な女性だよ。」

喜びの涙がスーザンの頬を伝いました。スーザンはマークのことを目で見ることができませんが、彼の存在は常に感じていました。彼女はとても幸運でした。マークが視力よりもはるかに力強い贈り物をあげていたのですから。愛の贈り物です。驚くべき愛です。

どのような愛があのようなやり方で妻の面倒を見るように彼を強く動かし、駆り立てたのでしょうか。ただ神様の愛だけです。これこそが驚くべき愛なのです！

私への神様の愛

しかし、神様の私たちへの愛というのは、マークのスーザンへの愛よりももっと驚くべきものなのです。神様は愛ゆえに、私たちが永遠の命を得られるようにひとり子を地上にお送りになったのです。

愛弟子ヨハネは最初の書簡に神の愛について書いています。彼はヨハネの第一の手紙 4：7-12 で神の愛が私たちの人生にもたらす影響について書いています。

⁷愛する者たちよ。わたしたちは互に愛し合おうではないか。愛は、神から出たものなのである。すべて愛する者は、神から生まれた者であって、神を知っている。

⁸愛さない者は、神を知らない。神は愛である。

⁹神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。それによって、わたしたちに対する神の愛が明らかにされたのである。

¹⁰わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。

¹¹愛する者たちよ。神がこのようにわたしたちを愛して下さったのであるから、わたしたちも互に愛し合うべきである。

¹²神を見た者は、まだひとりもない。もしわたしたちが互に愛し合うなら、神はわたしたちのうちにいまし、神の愛がわたしたちのうちに全うされるのである。

神様は、私たちみんなが神様の愛を世界と分かち合うように召しておられます。女性部で私たちはこう言います、「心に触れて、世界に届く」。「触れる」という言葉は神様の思いやりのある愛を必要としている人たちと触れ合うということです。日々の生活で直面する困難や試練のせいで、自分や他の人との奮闘のせいで、他の人と分かち合うだけの愛を持ち合わせていないかもしれません。ですが、日々私たちの内で神様が生きて下さるのなら、私たちはその愛を持つことができます。

7節で「愛は、神から出たものなのである」と読みました。神様が愛の源なのです。それ以外の愛は本物の愛ではありません。コリント人への第一の手紙 13 章が本物の愛について、そしてそれがどう振舞うかについてわかりやすく説明しています。パウロが本物の愛を説明するために用いたフレーズの一部がこちらです：

- 寛容であり
- 情け深い
- ねたむことをしない
- すべてを忍び
- いつまでも耐えることがない

今頃「誰がそんな風に愛することができるだろう」と考えている人もいるでしょう。答えはこうです。神様にはできます。そして私たちにもできます。もし神様が私たちの内で生きてくださるのなら。

神様がこのように愛することができるお方だというのを私たちはしっています。なぜなら神様がこうおっしゃっているからです。「わたしは限りなき愛をもってあなたを愛している。それゆえ、わたしは絶えずあなたに真実をつくしてきた」（エレミヤ書 31：3）と。私たちの過去や現在、日々の葛藤や罪、神様を失望させた回数など関係なく、それでも神様は私たちを愛しています。神様は私たちを愛することや、御元に引き寄せられることをおやめになりません。神様と日ごとに関係を持つことが、神様が愛してくださったように互いを愛する上で必要不可欠です。

天の家族の一員として生まれた私たちは、特別な意味で主にあって兄弟姉妹です。キリストの愛が私たちを家族として結び付けてくださいます。キリストの愛があるところではどこでも天来の関係が明らかになるのです。ヨハネの第一の手紙 4：7にはこうあります。「すべて愛する者は、神から生まれた者であって、神を知っている」。

証の文からの引用がどのようにヨハネのメッセージを支持しているか聞いてみましょう。

他者の利益に目を閉ざし、自分のことだけを見ている人を神はお喜びにならない。¹ E.G. White, *Counsels on Health* (Mountain View, CA: Pacific Press Publishing Association, 1923), 309.

心の内にある神の愛だけが私たちの隣人への愛の源泉である。

¹ Ibid., *The Desire of Ages* (Mountain View, CA: Pacific Press Publishing Association, 1898), 505.

神様への私の愛

ヨハネは単刀直入にヨハネの第一の手紙 4 章に書いています。7 節で彼は、私たちに互いを愛するようにと助言し、そして神様のように愛することは神様を知ることによって可能となると説明しています。8 節でも再び同じことを述べていますが、私たちが注意を払うようにと、こちらでは否定文を用いています。「愛さない者は、神を知らない」。最後に彼は 11 節で、神様の愛を互いに示すようにと私たちに強く勧めています。

私たちが互いを愛さないならば、私たちは神様のことを本当には知っていないのだというのは聖書から明らかです。もし私の周りの人たち一家族、友達、教会の人たち、同僚、他人一が私の生き方に純粹で真実なキリストの愛を見出せないなら、私は神様を知らないのです。

みなさんは毎安息日や平日にだって教会に来ているかもしれませんが、忠実に什一を納めているかもしれませんが、教会のためにあなたの時間、才能、財産をささげているかもしれません。でもあなたの人生から神様の愛が見えないのなら、あなたは神様を知らないのです。そしてそれは失われているということです。考えてみてください。これらのことをすべてしていながら、失われているのですよ？ 失われない人なんていません！ しかしながら、私たちの心に神様の愛無くしては、私たちはみんな失われているのです。今、正直に自分の心を評価してください。そして今、あなたの心を変えてくださるよう神様に願い求めてください。

神様の驚くべき愛

どのような神様の愛の証拠を私たちは持っているのでしょうか。ヨハネの第一の手紙 4：9 を読みましょう。

⁹ 神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。それによって、わたしたちに対する神の愛が明らかにされたのである。

ヨハネは同じ内容をさらにわかりやすく福音書で強調しています。

神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである（ヨハネによる福音書 3：16）。

あなたのために私のために大きな犠牲をささげるようにと神様を強く動かし、強く促し、強いるほどに、神様の私たちへの愛は無限の愛なのです。この犠牲の愛は驚くべき愛なのです！

パウロは神様が「天地の造られる前から、キリストにあってわたしたちを選」んだと言っています（エペソ人への手紙 1：4）。考えてみてください！ 私たちが母の胎に宿る前から、実に時が始まるよりも前から、神様はあなたのことと私のことを考えてくださっていたのです。神様の私たちへの愛は最初の罪が犯されるよりも前から始まっていました。救いの計画はすでに整っていたからです。この無限の愛は驚くべき愛です！

エレン・ホワイトはこのように書いています。

「人を許す神の愛を受け、分かち合うことができるようになるために唯一必須なのは、私たちへの神の愛を知り、それを信じることである。」

この許しの愛は驚くべき愛です！

神様の私たちへの驚くべき許しの愛によって、信者である私たちは他の人に愛を示すことを期待されています。ヨハネはヨハネの第一の手紙 4：11 でこのように思い起こさせています。「愛する者たちよ。神がこのようにわたしたちを愛して下さったのであるから、わたしたちも互に愛し合うべきである」。

他者への私の愛

人それぞれ大好きなフルーツがあって、みんなそれぞれのフルーツを「最高」だと言います。マンゴー（もしくはあなたの国で愛されているフルーツと置き換えてください）は甘くてジューシーです。見た目もよくて、とても魅力的です！ 東南アジアで採れるフルーツで多くの人に愛されているのがもう一つあります。ドリアンです。しかしながら、このフルーツの臭いは強烈でとても不快です。臭いが強烈すぎて試食さえいやがる人もいます。あまりにも不快なおいなのでホテルはドリアンを出さないし、いやな臭いのため乗客は機内に持ち込むことができません。それでも人々は、ドリアンは甘くて美味しいと言うのです。

他の人を愛するという事について考えるとき、私たちは様々な困難に直面します。ある人々はマンゴー（それかあなたが選んだ別のフルーツ）のようです。私たちは一目で彼らを愛することができます。彼らと共にいることに喜びを感じます。しかしながら、どちらかというドリアンのような人たちもいます。しばしばそういう人たちは喧嘩腰だったりします。親しくなるのが難しく、そういう人に出会うと私たちは逃げ出してし

まうときもあります。ですが、忍耐強く待てば、彼らのいいところを見つけることができます。神様は彼らの堅い心を柔らかくするのにあなたの影響力を用いることがおできになります。

あなたの日ごとの祈りはなんですか？ 主に他の人を変えてくださるよう祈っていますか？ それとも自分自身を変えてくださいと祈っていますか？ 他の人たちが私たちを見たときに、彼らは驚くような愛を私たちに見出すことができるでしょうか？ イエス様を見出すことができるでしょうか？ 私たちが人々を愛するように強く動かし、強く促し、支配し、強いる愛を見出せるようであるべきです。その人がマンゴーであっても、ドリアンであっても。

私の中のキリストの愛

友よ、元気をだしてください！ もし私たちがドリアンのように他の人に対して悪臭を放っていたとしても、神様は私たちの心を変えて、キリストのうちに新たに創造してください。

パウロはコリント人への第二の手紙 5：17（口語訳）でこのように書いています。

だれでもキリストにあるならば、その人は新しく造られた者である。古いものは過ぎ去った、見よ、すべてが新しくなったのである。

私たちはキリストにある必要があります。どうしてキリストにある必要があるのでしょうか？ それは、キリストにあってこそ、私たちは義、罪からの許し、永遠の命、そして終わることのない喜びを得ることができるからです。キリストにあって、私たちは新しく創造されるのです。

新しく創造される人とはなんでしょう？ 私たちの顔が変わるということでしょうか？ 外見の変化でしょうか？ 答えは、外見的にも、内面的にもです。外見的には、人々は私たちの行動や顔に現れる喜びの変化を見るでしょう。内面的には、心と精神の変化です。私たちがキリストにあってキリストが私たちにあるとき、彼は私たちの品性を変えてくださいます。内側が変えられることによって、私たちの外側である行動も変えられるのです。これが他の人たちが見なければならぬことです。

古きものは過ぎ去りました。過去の習慣、行動、態度、これらのものはすべて消えていきます。そうです、私たちがイエス様の代わりに自分ばかりを見ていると、それらのものは次第に表面化していきます。ですが、私たちが日ごとに救い主を求めるなら、周りの人への接し方が変えられ、周りの人たちもその変化を見ることができます。キリストと関係をもつということは、私たちがキリストの注がれる愛の受け皿になるということです。**この新たに生まれ変わらせる愛は驚くべき愛です！**

古い心—小さなことで家族と言い争う女性、いつも批判や文句を言ってばかりの女性、時々いじわるで短気になってしまう女性、そうです、これらの女性の心—は聖霊様のご臨在によって抑えられます。私たちの家族、友人、同僚、そして近所の人たちはイエス様の驚くべき愛を私たちの内に見るでしょう。

神様の愛を分かち合う

そうです、神様の愛を受けるだけでは十分ではありません。私たちはその愛を他の人たちにも伝える必要があります。神様が私たちに与えて下さった愛は私たちが愛されていて、神様の目に貴いのだと肯定してくれます。私たちがその愛を他の人たちにも伝えることで、彼らも神様に愛されていることや自分が貴い存在だということを知るようになるのです。罪悪感、後悔、悲しみ、怒り、孤独、絶望、許さないことにおぼれている人たちの人生がどれだけ変えられるでしょうか。ありのままに神様が愛してくださっていること、彼らを救うために死んでくださったことを知ることで、苦痛の人生から喜びの人生へと変えられるのです。そして私たちは、神様の愛を求めている神様の子どもたちに喜びを与えるために選ばれたのです。この人生を変える愛は本当に驚くべき愛です！

Ellen White writes eloquently of the amazing, life-changing love that moves our hearts.

エレン・ホワイトは私たちの心を動かす驚くべき、人生を変える愛について雄弁に書いています。

「天の法則である永遠の愛が心を満たすと、それは他の人に与えるためにあふれ出ます。恵みを受けるからだけでなく、愛から出る行為が品性を変え、衝動を抑え、情熱をコントロールし、憎しみを抑制し、愛情を高めるからです。この愛は「私と私のもの」だけではなく、世界のように広く、天のように高いのです。それは天使たちの愛と調和しています。魂の中で大切に育まれたこの愛は、生活のすべてを清め、周囲を純化します。この愛を持つとき、私たちは幸せを感じないではいられません。神の子供たちを愛さずにはいられません。この愛は神の霊です。それは魂に真の高貴さと尊厳を与える天の飾りです。

私たちの務めは、キリストの愛をかもしだして生きること、キリストの愛を深く呼吸し、キリストの暖かさを周りに反射することです。私たちの前には何と広い影響力の領域が広がっていることでしょう。清い、優しい、香りのいい花だけを育てられるように、注意して魂の園を耕さなければなりません。愛と、優しさと思いやりの言葉、それが他人への影響力を清めるのです。」（『今日の光—我らが高き召し』2001年第2期、6月18日）

ヨハネの第一の手紙 4：10—12 をお読みしましょう。

¹⁰わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。

¹¹愛する者たちよ。神がこのようにわたしたちを愛して下さったのであるから、わたしたちも互に愛し合うべきである。

¹²神を見た者は、まだひとりもない。もしわたしたちが互に愛し合うなら、神はわたしたちのうちにいまし、神の愛がわたしたちのうちに全うされるのである。

奨励

神様は私たち一人ひとりを御子、イエス・キリストを通した救いへと招いておられます。

神様は、神様が私たちの人生のうちに生きてくださるように私たちの人生を明け渡すようにと招かれています。

神様は私たちが日ごとに神様と時間を過ごし、聖霊様と神様からの贈り物を受け取るようにと招かれています。

神様の愛は強く動かし、支配し、強く促し、私たちに強めます。神様の愛は、新しく創られた者となるために必要な変化を望むようにと私たちに突き動かします。

それぞれの人生において神様の愛に触れる必要がある人たちと出会い、彼らに救いの手を差し伸べるにあたって、私たちが神様と一つになり、神の教会と一つになるようにと主は招かれています。

そうです、みなさん、私たちが神様の愛を受け取るように、そしてその愛を私たちが出会う人々に与えるようにと神様は日ごとに私たちを召しておられるのです。だからこそ、神様はこのような女性を求めておられます。

- ❖ 日ごとに神様に完全に献身する女性
- ❖ 神様を愛し、賛美の供え物として喜んで自分の人生をささげる女性
- ❖ 人生において夫や子ども、家族、友人、仕事、何事よりもまず神様を第一とする女性
- ❖ み言葉を学び、聖霊様によって導かれる女性
- ❖ 喜んで他人のために奉仕する女性

もしあなたが神様の驚くべき愛に動かされてそのような女性になりたいのなら、私と一緒に立ち上がってください。神様のために世界を愛する準備ができていて喜んで愛そうとする女性の隊列を神様がお持ちであることを、この場にいるすべての人に見ていただきましょう。

—終わり—